

平成27年度
いわて中山間賞
受賞

奥州市 梁川ひつじ飼育者の会

～めん羊導入による耕作放棄地の解消～

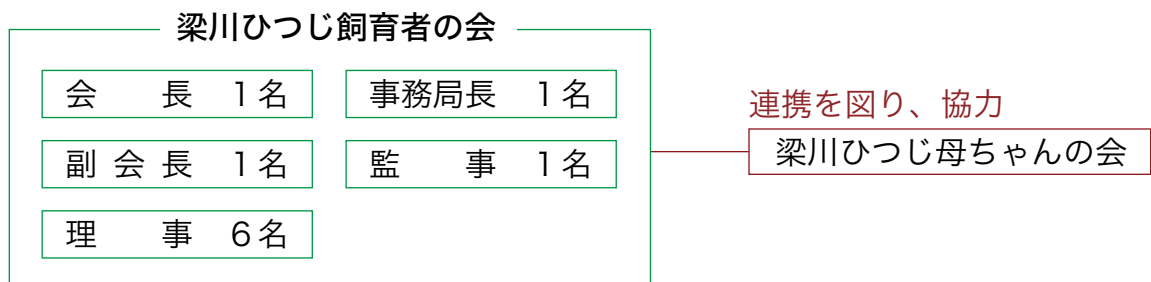


概要

- 奥州市北東部に位置する江刺にあり、集落のほぼ中央を国道 107 号線が東西に、一級河川「広瀬川」が南北に縦断している地域である。水稻を中心とした農家が多い。
- 梁川地域における中山間地域等直接支払制度の協定集落（19 集落）の代表者が参画する「中山間組織梁川連絡協議会」において、耕作放棄地解消の取組として、めん羊の活用を試みた。平成 22 年には、「梁川ひつじ飼育者の会」を立ち上げ、梁川地区の先導的取組として実施している。



組織体制図



特徴的な取組

- 「人手をあまりかけなくても、ほ場の除草ができること」、「高齢者でも取り組めること」を利点として、転作牧草水田等にめん羊を放牧し、耕作放棄地の発生防止と地域活性化につなげている。
- 羊肉は、県内や首都圏のレストランへ「やながわ羊」として出荷している。シェフから高い評価を得ており、継続的な取引につなげている。シェフを招聘した生産現場の見学などを通じて、「安全・安心」な情報を発信している。
- 飼育者の配偶者等で構成される「梁川ひつじ母ちゃんの会」が主体となり、地域の高齢者や園児を対象に、羊毛加工講習会や仔羊とのふれあい体験を開催している。また、地域のお祭り際には、女性が中心となり、ひつじ料理を振る舞うなどしている。
- 平成 30 年度には「岩手めん羊研究会」に加盟し、県内のひつじ生産地との情報共有を図り、飼養管理技術の向上につなげる取組を行っている。



活動写真



①めん羊を放牧する農用地

定置式隔障物を設置した耕作放棄地内に放牧し、継続的に除草が行えるようにしている。



②仔羊

自家交配によるめん羊の生産も行っている。(毎年2～3月に誕生)



③首都圏シェフの見学

羊肉販売にあたり、シェフを招いた産地見学を開催し、顔の見える「安全・安心」な情報を発信している。



④羊毛を活用したイベント

「梁川ひつじ母ちゃんの会」と連携し、羊毛加工講習会の開催など、世代間交流を実施している。



めん羊放牧の実施状況（H29）

- 放牧面積：5.6ha（うち 2.1ha が、中山間地域等直接支払交付金の交付対象面積）
- めん羊頭数：74 頭
- 羊肉販売額：4,320 千円



将来の目指す姿

- さらなる耕作放棄地の解消と農村景観の改善のため、めん羊飼育頭数の拡大を図る。(目標飼育頭数：100 頭)
- めん羊の放牧による耕作放棄地の解消が明らかとなったことから、今後は、さらに食味の良い羊肉を消費者に供給するための肥育技術の向上と品質の安定化を図る。
- 自主運営による「羊肉販売所」「ジンギスカンハウス」を開設し、会員が育てた「安全・安心」な羊肉を安価で美味しく提供することにより、消費者との交流を促進し、地域活性化を図る。